

新型コロナウイルス感染症

レジストリを活用した研究

東京 i CDC 専門家ボード

COVID-19 に関するレジストリ研究の概要

目的	本邦におけるCOVID-19患者の臨床像及び疫学的動向を明らかにする
対象	COVID-19と診断され、医療機関において入院管理されている症例
期間	2020年1月～ 現在
解析・ 検討内容	<ul style="list-style-type: none">・ COVID-19の臨床像、経過、予後・ 重症化危険因子の探索・ 薬剤投与症例の経過と安全性
寄与	<ul style="list-style-type: none">・ 将来の予防法・治療法の開発などの際に活用可能な基礎データとなる。

厚生労働省科学研究費「COVID-19に関するレジストリ研究」：代表者 大曲貴夫



(<https://covid-registry.ncgm.go.jp>)

ログイン

研究について ▾ 参加方法 ▾ 研究計画書・その他資料 ▾ データ利用について ▾ 情報公開 ▾ Q&A ▾ お問い合わせ・リンク ▾

COVID-19に関するレジストリ研究

COVID-19 REGISTRY JAPAN

このサイトは、日本全国の医療機関に入院されたCOVID-19患者さんの情報を収集し、病気の特徴や経過などの様々な点について明らかにすることを目的とするCOVID-19レジストリの研究について情報公開をしています。

<レジストリ進捗状況> 2020年11月12日時点

研究参加施設：821施設 レジストリ登録症例数：13,814症例

COVID-19 レジストリ研究 Webサイト

2020年4月開設

研究について、一般・参加施設へ情報提供
(研究概要、研究体制、情報公開文書、
研究成果、Q&Aなど)

COVID-19 レジストリ研究 本データの注意点

- ・ 3月28日までに登録されたデータを利用し、**登録開始日～2月28日**までに入院した症例を対象とした。**全国30,505例、東京都6,205例**であった。

定義：

入院時軽症：入院時重症以外

入院時重症：入院時に酸素投与、人工呼吸器管理、SpO2 94%以下、呼吸数24回/分以上のいずれかに該当する場合

入院経過中軽症：中等症・重症以外

入院経過中中等症：入院中に酸素が必要であった症例

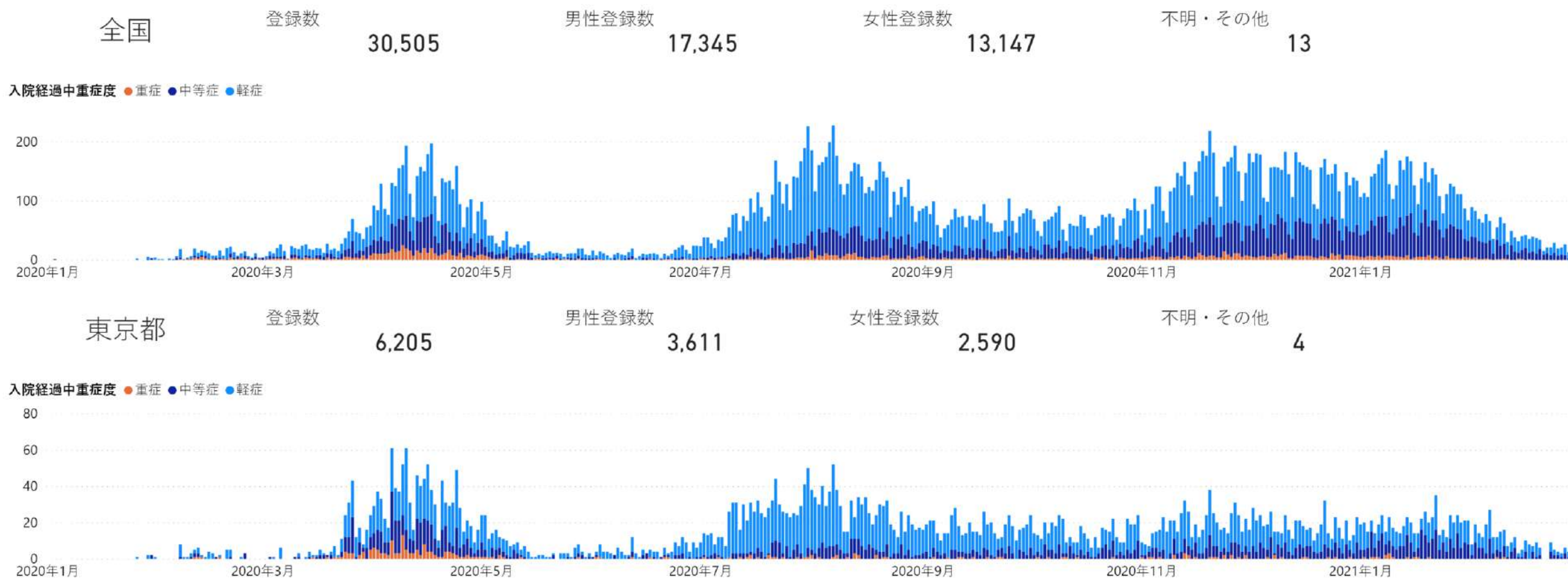
入院経過中重症：入院中に挿管・ECMO（体外式膜型人工肺）が必要であった症例

- ・ 退院が完了した症例からデータの登録を行うため、直近の症例の中でも**入院が長期化している症例は含まれていない。**
- ・ COVIREGI-JP東京都データは、東京都保有データに比して、**年齢が高く、男性が多く、致死率が高いデータ**である。
- ・ 欠損値など対象症例の問い合わせ対応中項目は、不明として含めている。

※ **10月24日以降、入院の対象は高齢者や基礎疾患を有する者、都道府県知事が入院の必要があると認める者等に限定されている。**

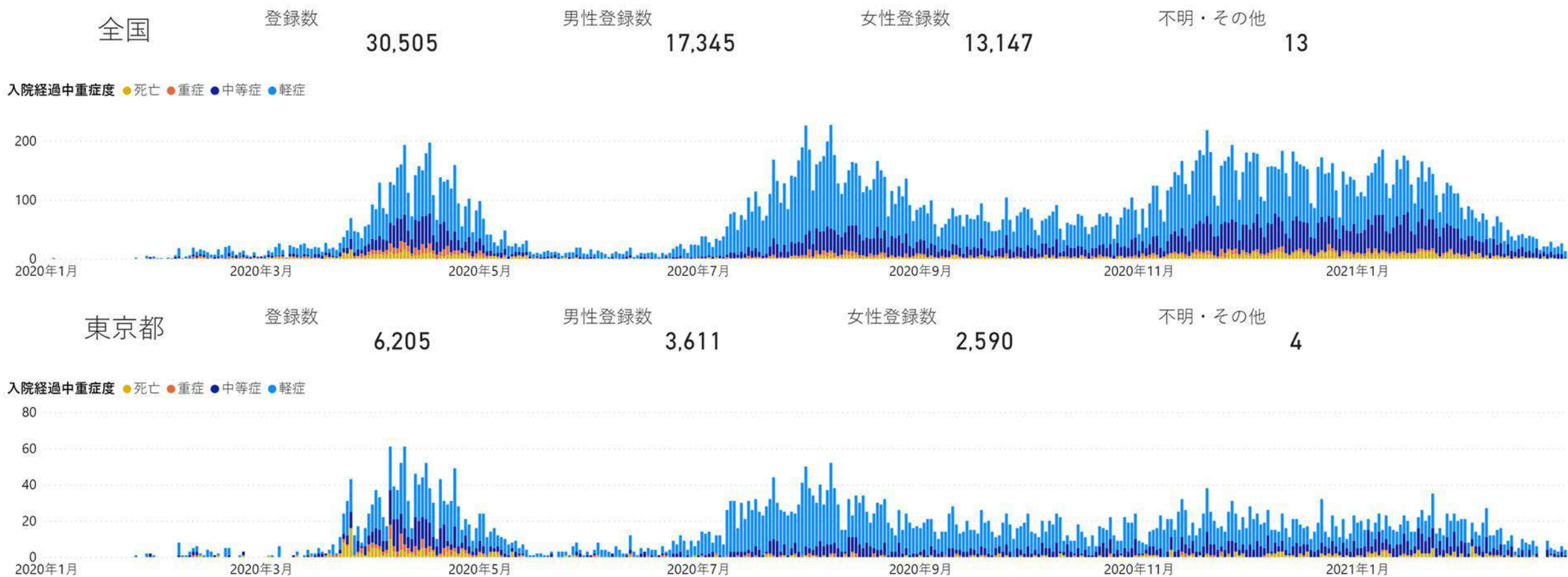
入院日・経過中重症度別登録数

- ・全国、東京都ともに、第2波に比して第3波は中等症以上の患者が増加している。
入院基準および患者背景（年齢）の変化の影響を考慮する必要がある。



入院日・経過中重症度別（死亡含む）登録数

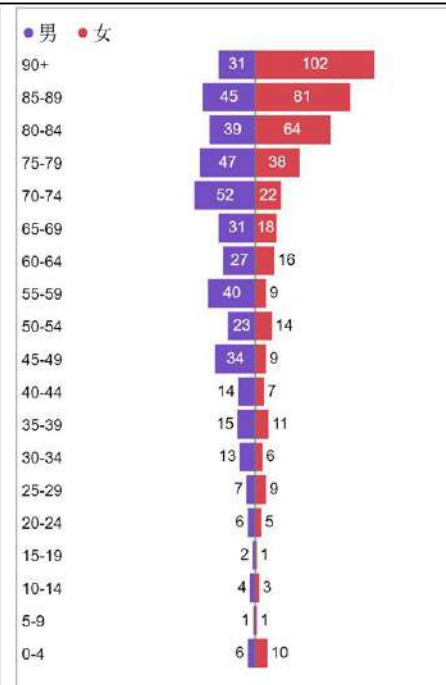
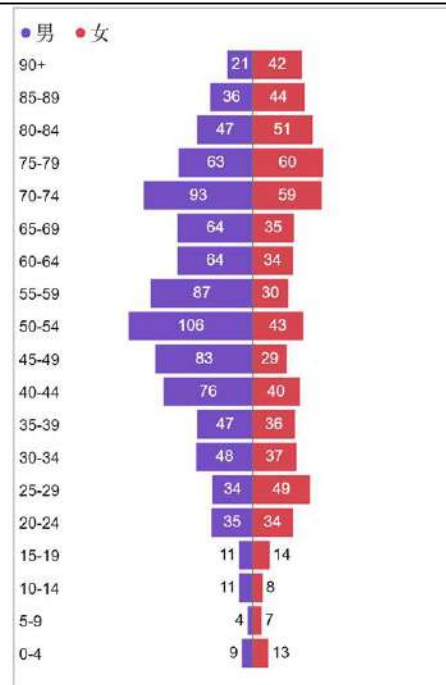
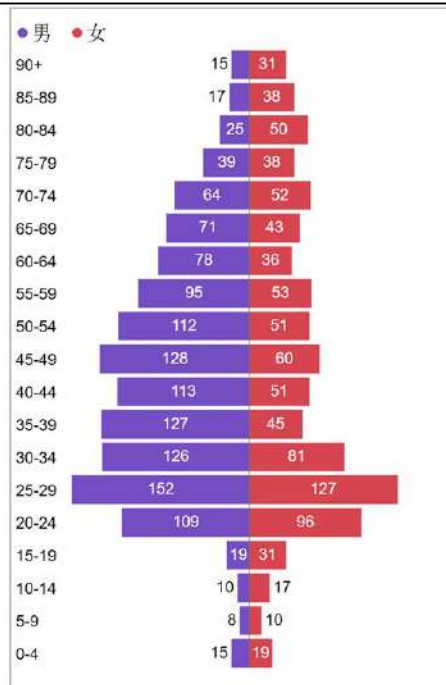
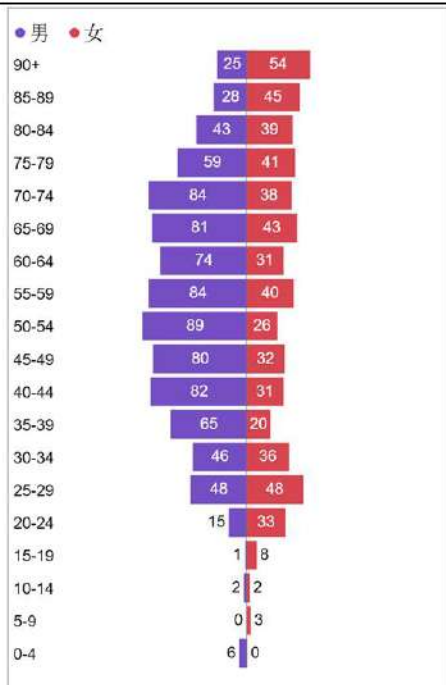
- ・全国では、第2波に比して第3波は死亡数が増加している。
入院基準および患者背景（年齢）の変化の影響を考慮する必要がある。



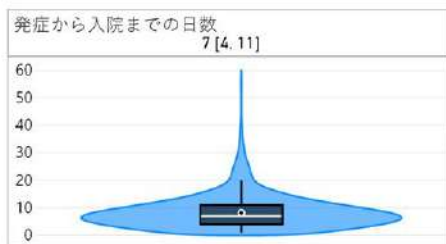
各波の臨床学的特徴（東京都）

- ・年齢別男女登録数は、第3波前半は若年者患者が減少し、後半にかけて高齢患者、特に女性患者が増加している。
 - ・発症から入院までの日数は、第3波前半で短縮されたが、後半は第2波と同水準で推移している。
- いずれも、入院基準の変更に留意が必要である。

年齢別男女登録数

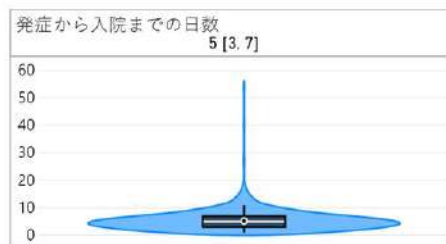


発症から入院までの日数



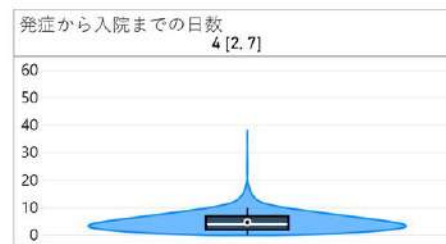
東京都 1波

2020年1月1日～2020年5月31日 入院



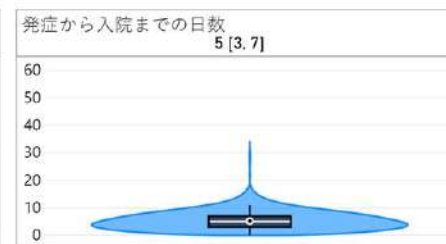
東京都 2波

2020年6月1日～2020年9月30日 入院



東京都 3波前半

2020年10月1日～2020年12月31日 入院



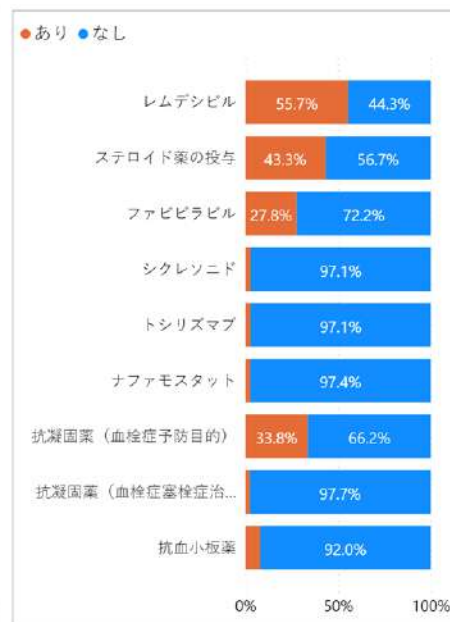
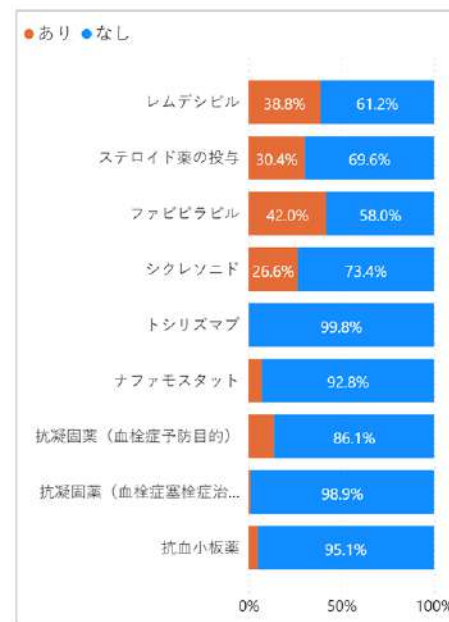
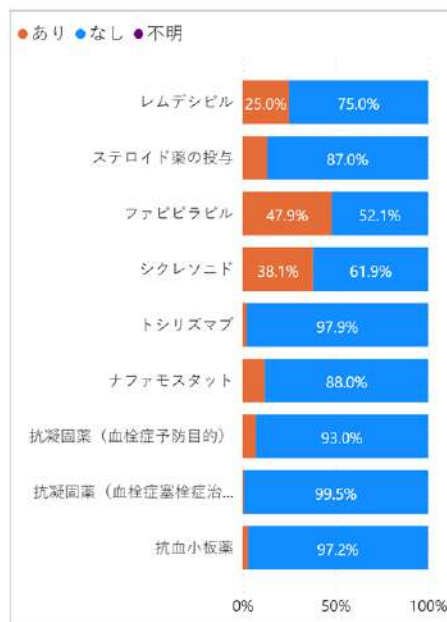
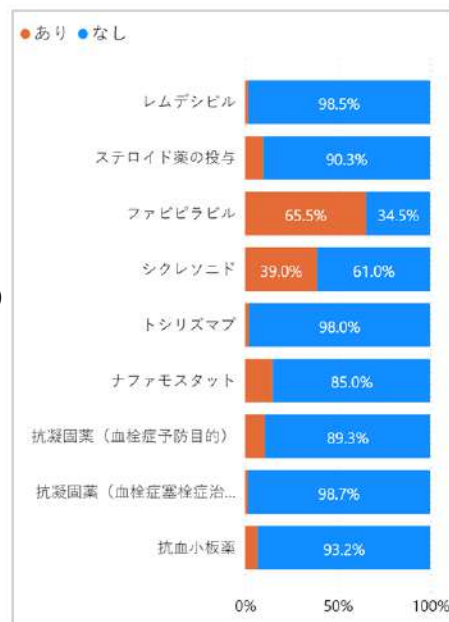
東京都 3波後半

2021年1月1日～2021年2月28日 入院

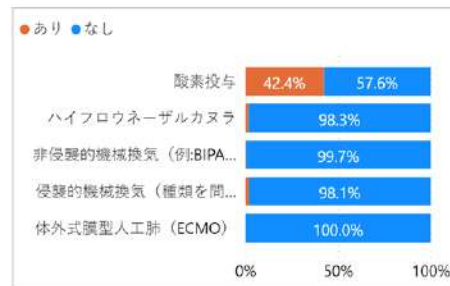
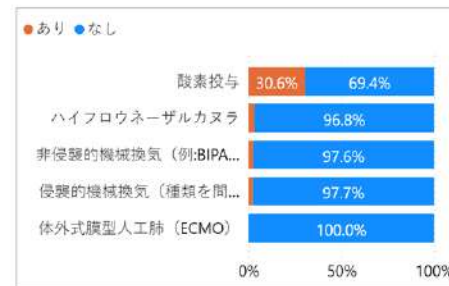
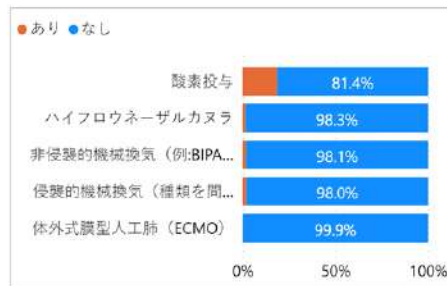
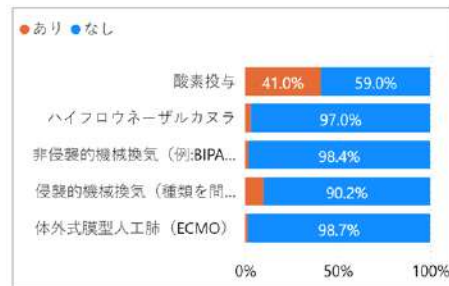
各波の臨床学的特徴（東京都）

- 第3波後半ではファビピラビル・シクレソニドの使用が顕著に減少し、レムデシビル、ステロイド全身投与、抗凝固薬の使用が増加した。
- 第3波は第2波に比べ、酸素投与が必要な患者が増加したが、人工呼吸器管理割合の変化は認めていない。

COVID-19治療目的での薬剤投与の登録割合



呼吸補助治療の登録割合



東京都 1波

2020年1月1日～2020年5月31日 入院

東京都 2波

2020年6月1日～2020年9月30日 入院

東京都 3波前半

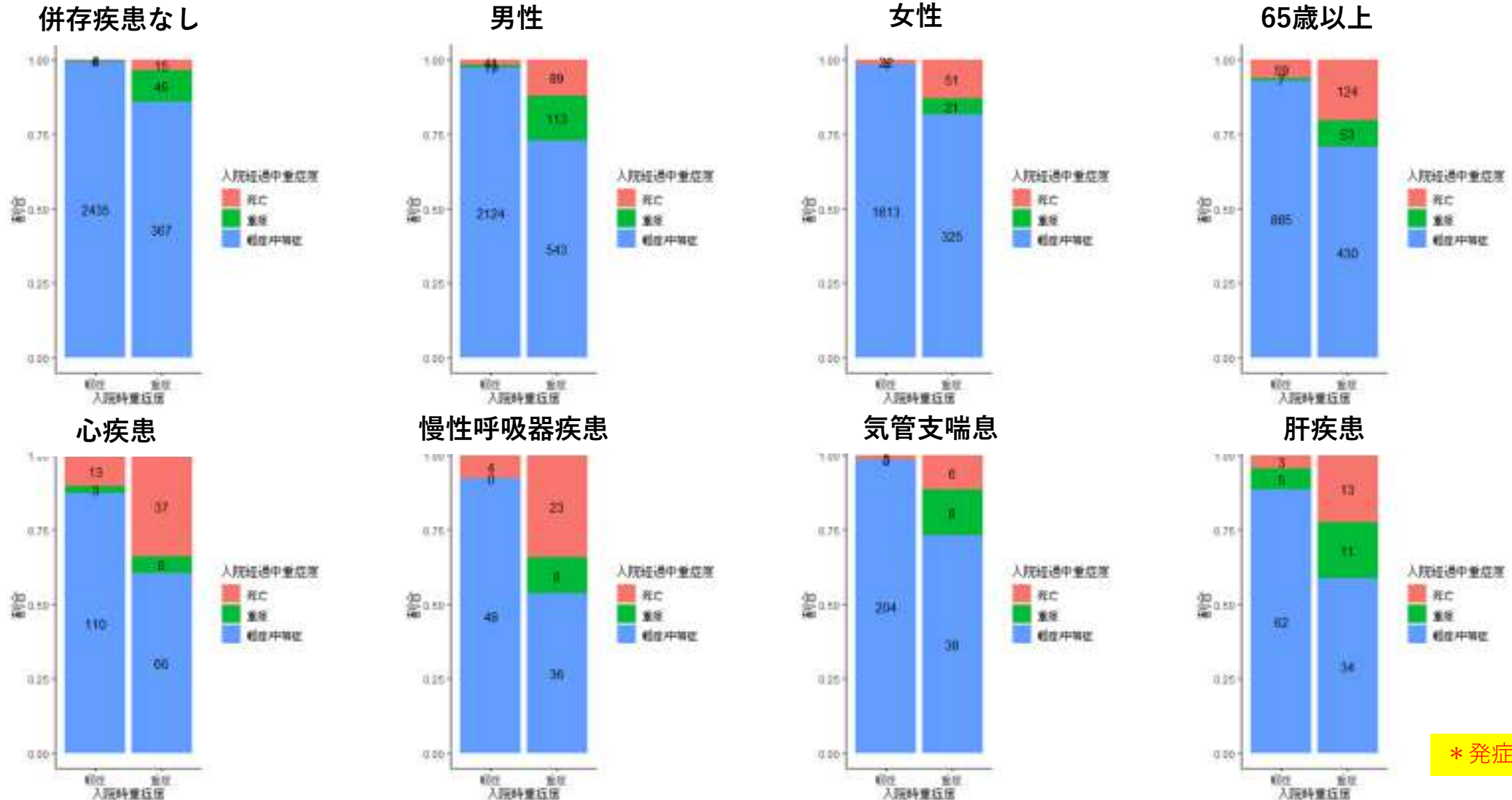
2020年10月1日～2020年12月31日 入院

東京都 3波後半

2021年1月1日～2021年2月28日 入院

背景因子ごとの重症化/死亡率

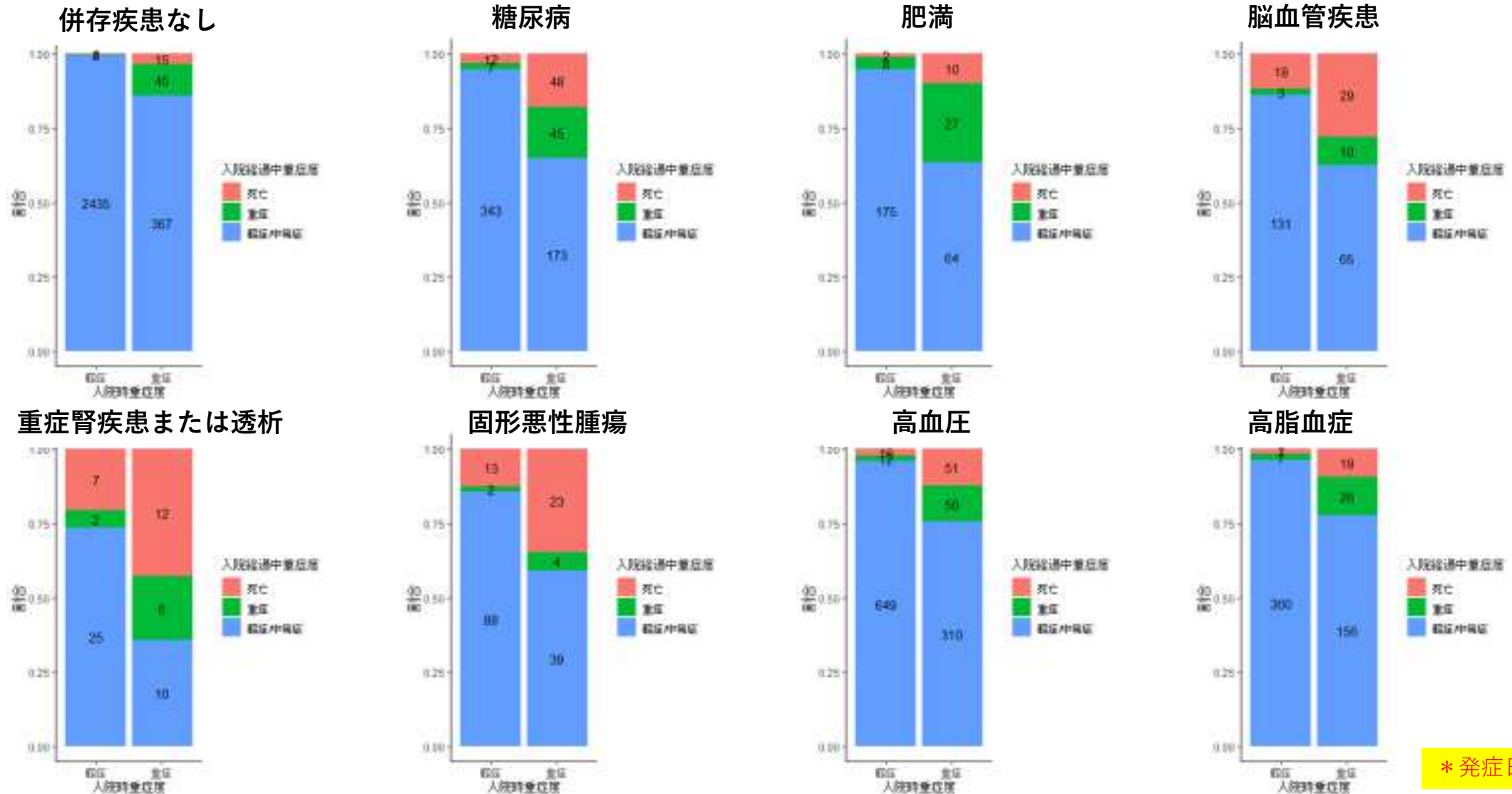
- 併存疾患なしと比べて、高齢（65歳以上）・心疾患・慢性呼吸器疾患・糖尿病は、重症化リスク・死亡リスクが高い傾向にある。第3波でも傾向は変わらなかった。



* 発症日不明も含む

背景因子ごとの重症化/死亡率②（全年齢東京）

- 脳血管疾患、固形悪性腫瘍、心疾患などは入院時に軽症でも死亡リスクは高い傾向にある。



* 発症日不明も含む

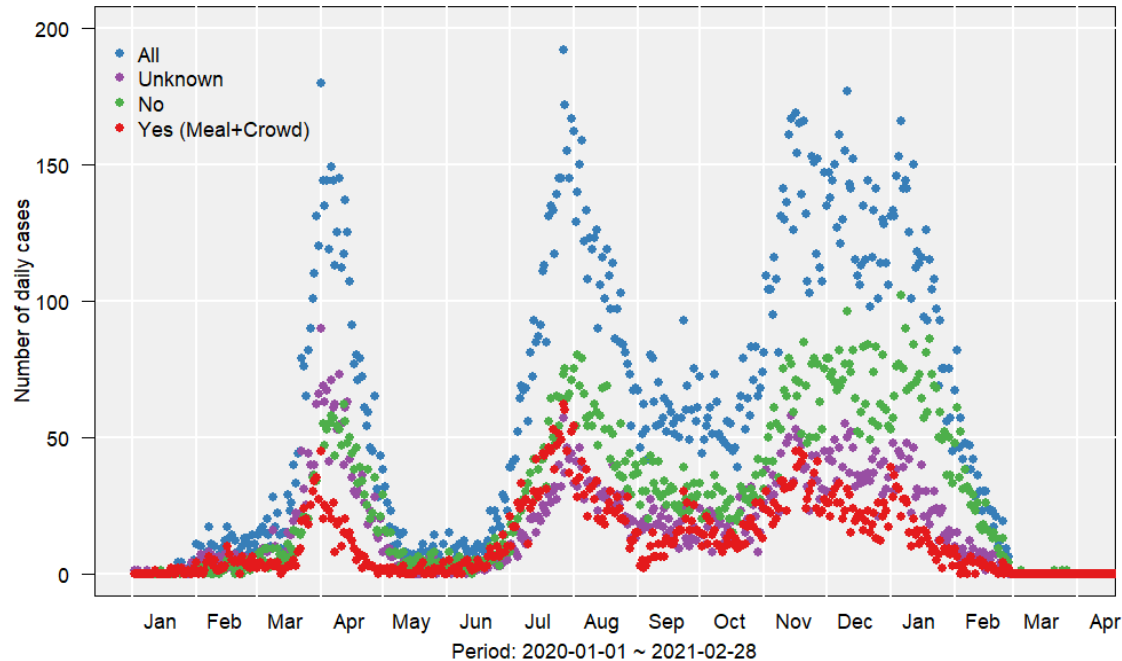
飲食および3密の場に滞在した割合（全国・東京）

- ・全国では、密の波は2波くらいまではきれいだが3波から崩れている。
東京では、密の波は2波から崩れている。
⇒入院基準の変遷もあるが、感染が三密以外の場所でも広がっている可能性が示唆される。

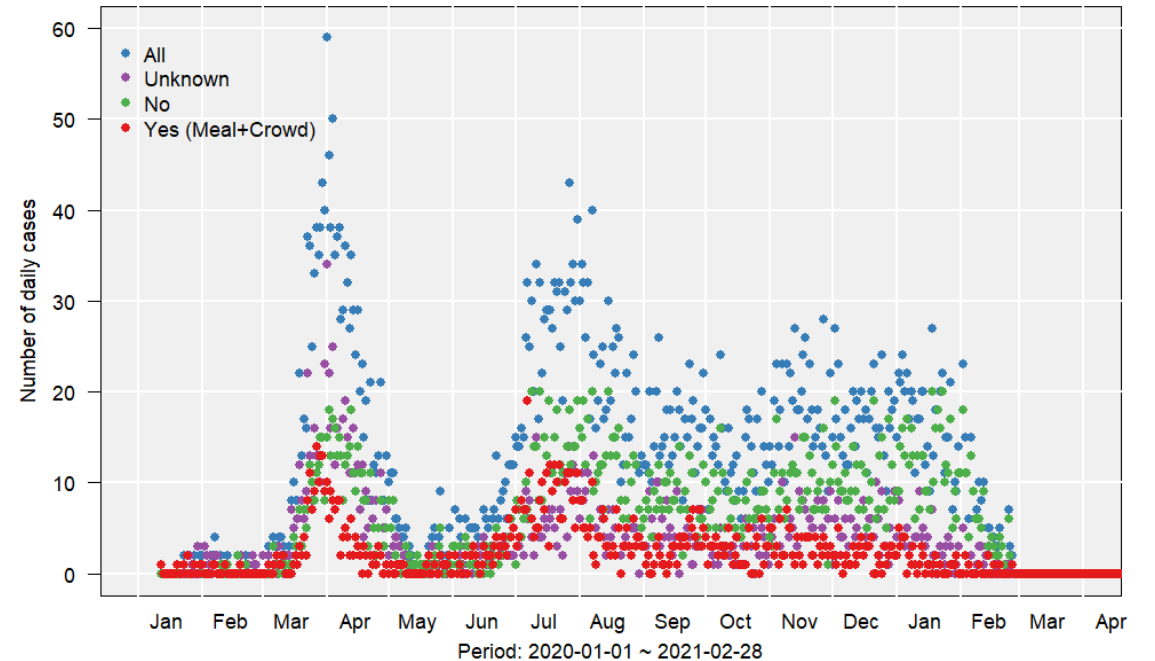
発症前14日間に以下のことがありましたか？

- ・同居家族以外での集団での飲食（3人以上）：はい いいえ 不明
- ・三密と考えられる空間への滞在：はい いいえ 不明
(スポーツジム、ライブハウス、カラオケ、パチンコ、雀荘、ビュッフェ、屋内パーティ、会議、ナイトクラブ/バーなど)

全国



東京



各波の飲食および3密の場に滞在した割合（全国）

- 第3波後半では、患者数増加にもかかわらず、若年者の三密割合は増加している。入院以外の患者層は若年者が多いため、三密場所の滞在は引き続きリスクである。

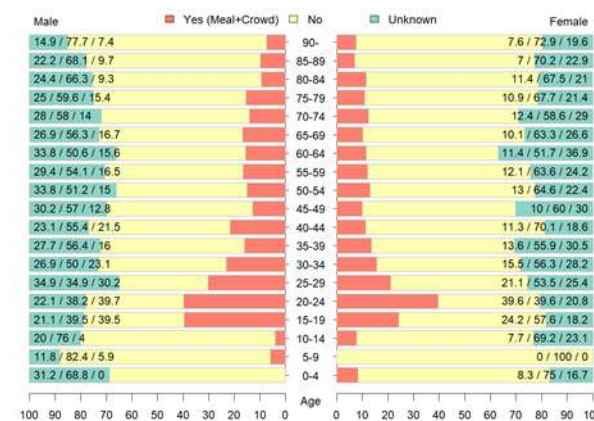
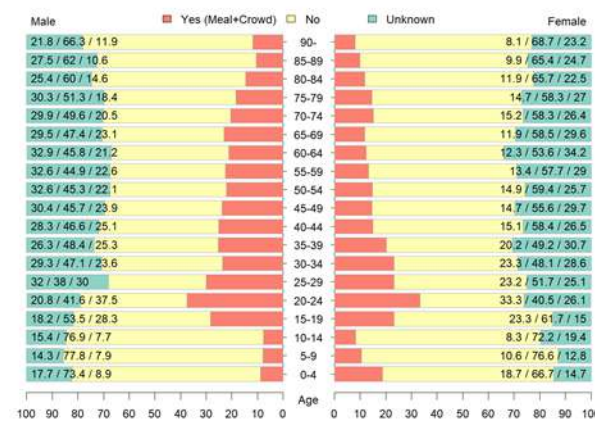
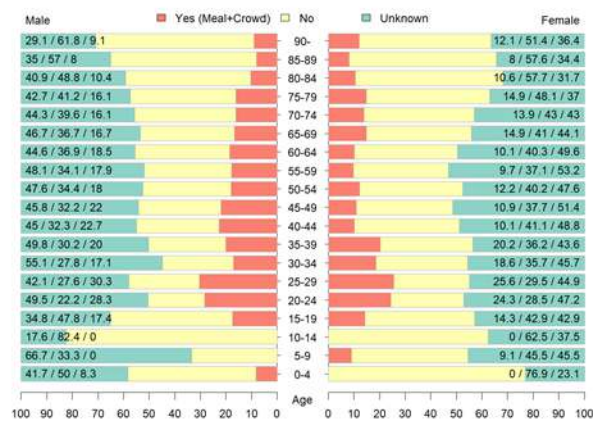
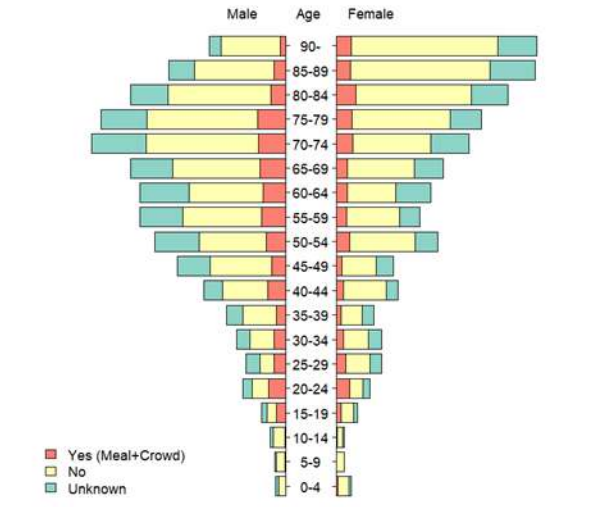
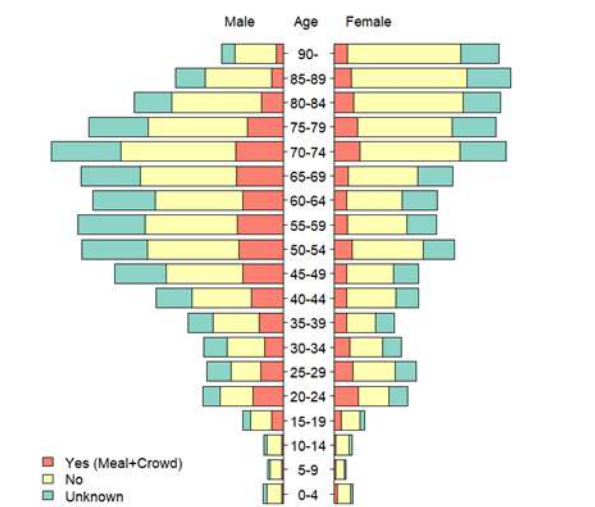
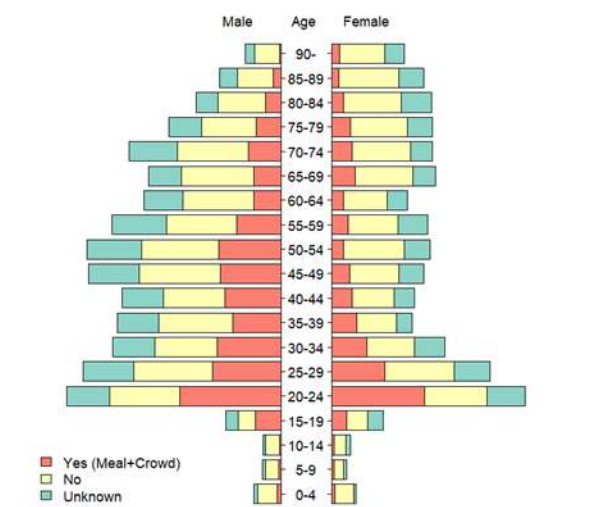
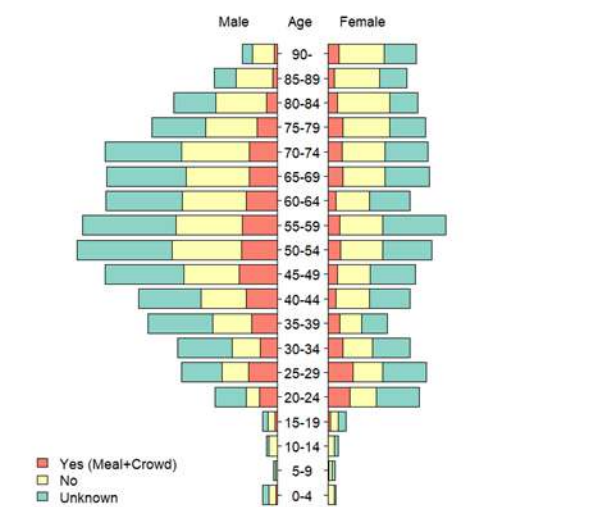
第1波

第2波

第3波前半

第3波後半

実数と割合



割合

各波の飲食および3密の場に滞在した割合（東京）

- 第3波後半では、三密の割合は減少傾向である。若年男性の三密割合は増加している。

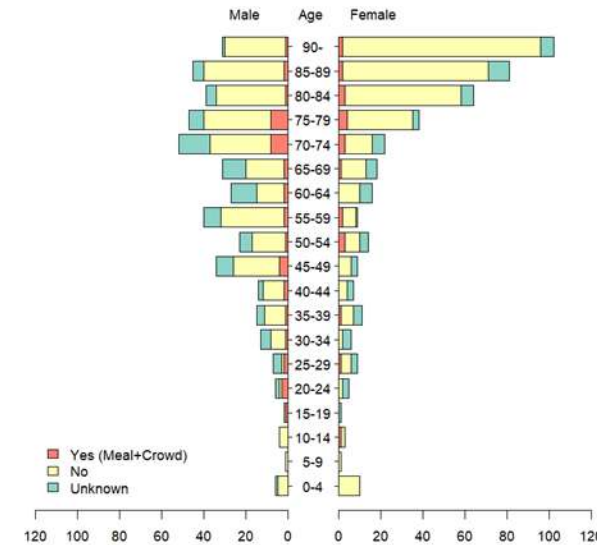
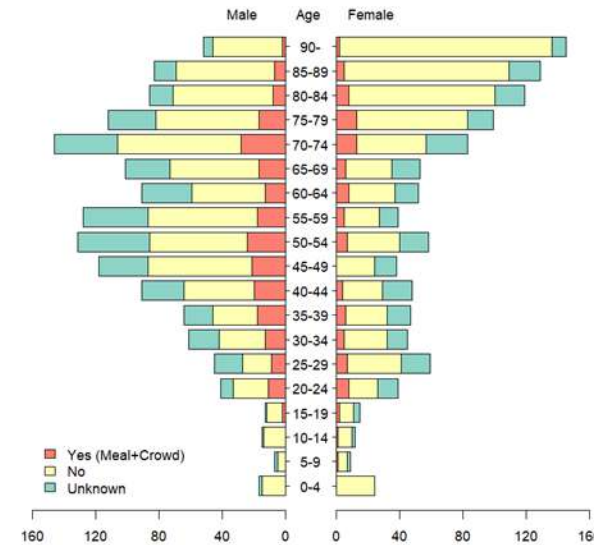
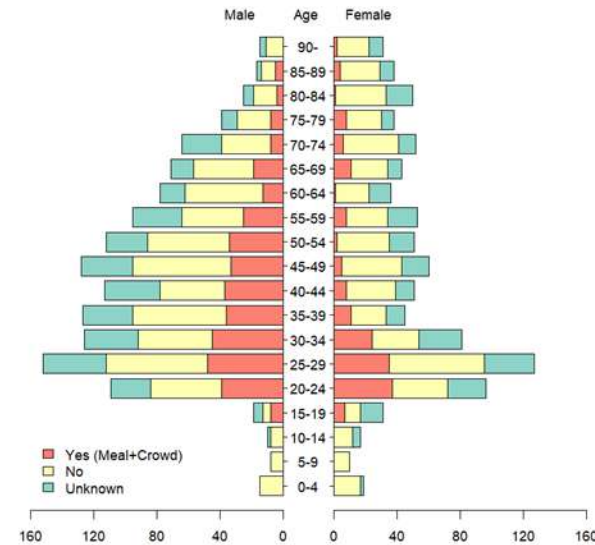
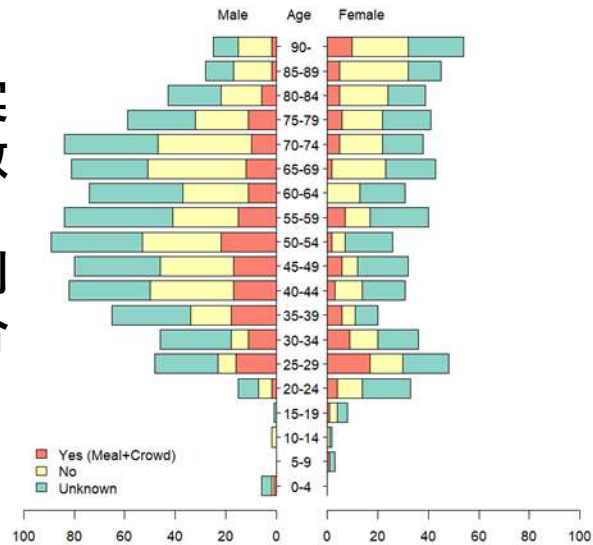
第1波

第2波

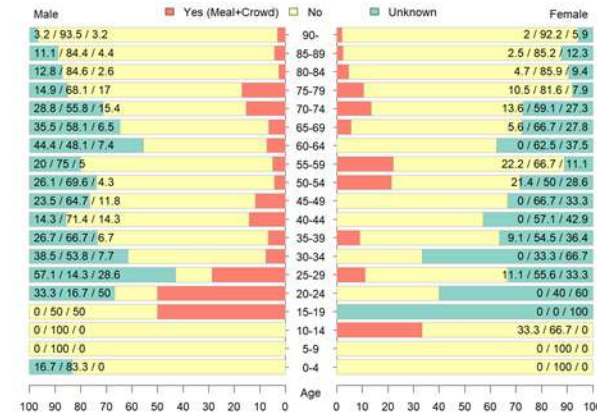
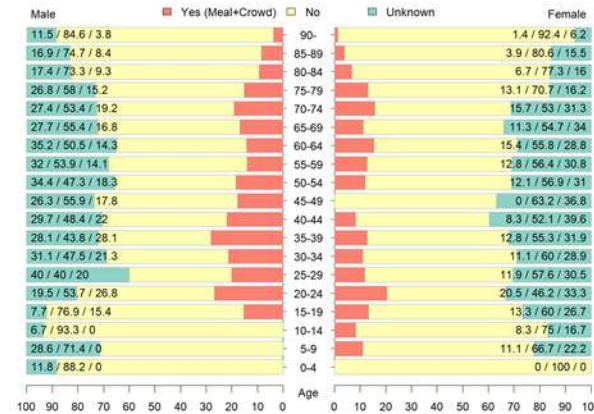
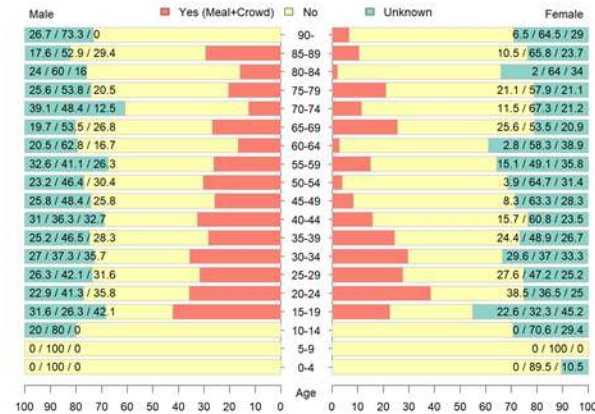
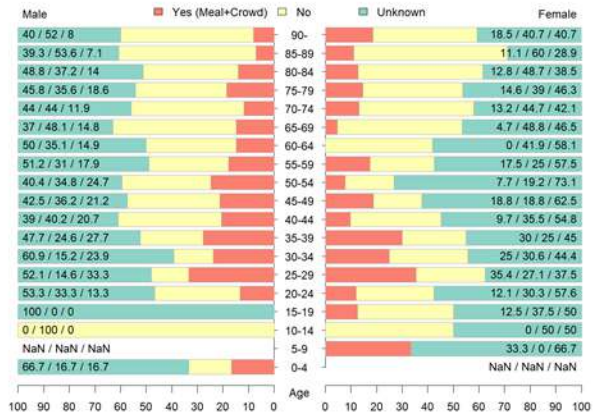
第3波前半

第3波後半

実数と割合



割合



まとめ

東京都において、

- 第3波では、中等症患者が増加しているが、重症患者は変化していない。
 - ⇒入院対象で病床の逼迫を抑え、継続した早期治療が有効であった可能性が示唆された。
- 三密から感染が拡大する構図が崩れてきており、市中に広がっている可能性が示唆された。
 - ⇒入院外では若年者の感染者数が多いため引き続き感染源となる三密場所を避ける必要がある。
- アドバイザーボードでのご意見